

| | | |
|------------------------------------|------------|-------------|
| 6年 4 解説 | 小数や分数の四則計算 | ____年 ____組 |
| | | 名前 |

※整数や小数の時に成り立った計算のきまりは、分数でも成り立ちます。

$$\bigcirc \frac{1}{2} - \frac{4}{5} \times \frac{3}{8}$$

式の中のかけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算します。

$$\begin{aligned} & \frac{1}{2} - \frac{4}{5} \times \frac{3}{8} \\ &= \frac{1}{2} - \frac{3}{10} \\ &= \frac{5}{10} - \frac{3}{10} \\ &= \frac{2}{10} \\ &= \frac{1}{5} \end{aligned}$$

$$\bigcirc \frac{1}{6} \div \left(\frac{2}{3} - \frac{1}{9} \right)$$

かっこがあるときは、かっこの中を先に計算します。

$$\begin{aligned} & \frac{1}{6} \div \left(\frac{2}{3} - \frac{1}{9} \right) \\ &= \frac{1}{6} \div \left(\frac{6}{9} - \frac{1}{9} \right) \\ &= \frac{1}{6} \div \frac{5}{9} \\ &= \frac{1}{6} \times \frac{9}{5} \\ &= \frac{3}{10} \end{aligned}$$

計算のきまり

- ① $A \times B = B \times A$
- ② $(A \times B) \times C = A \times (B \times C)$
- ③ $(A + B) \times C = A \times C + B \times C$
- ④ $(A - B) \times C = A \times C - B \times C$

中学校では、計算のきまりのことをこのように言います。知っておくとよいですね。

- ①のきまりを「交換法則」
- ②のきまりを「結合法則」
- ③④のきまりを「分配法則」

計算のきまりを使うことで、より簡単に計算できます。

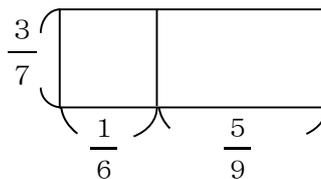
$$\frac{5}{7} \times \frac{5}{6} \times \frac{3}{10} = \frac{5}{7} \times \left(\frac{5}{6} \times \frac{3}{10} \right) = \frac{5}{7} \times \frac{1}{4}$$

$$\frac{5}{6} \times \frac{3}{10} = \frac{1}{4} \text{ になるので、計算が楽になります。}$$

$$\frac{1}{6} \times \frac{3}{7} + \frac{5}{9} \times \frac{3}{7} = \left(\frac{1}{6} + \frac{5}{9} \right) \times \frac{3}{7} = \frac{13}{18} \times \frac{3}{7}$$

共通している数以外を(かっこ)に入れて計算することで、かけ算が一度になって計算が楽になります。

図で表すと意味が分かりやすくなります。



※より計算を楽にできるように、計算のきまりを使うことが大切です。